

# 経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

宮崎県

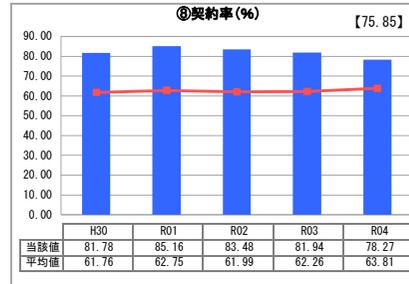
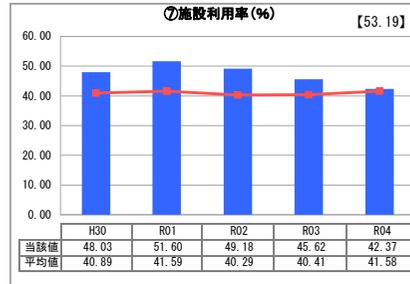
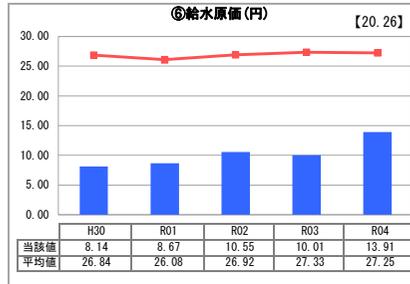
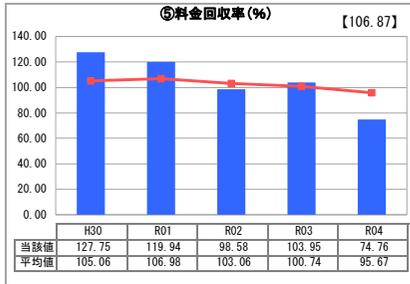
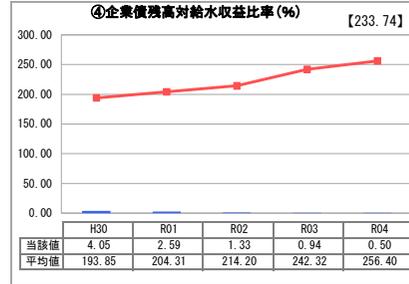
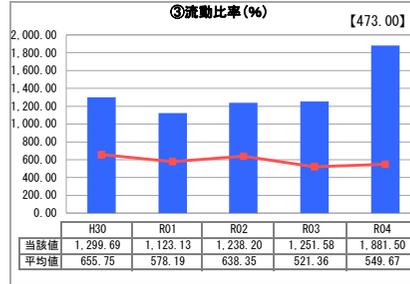
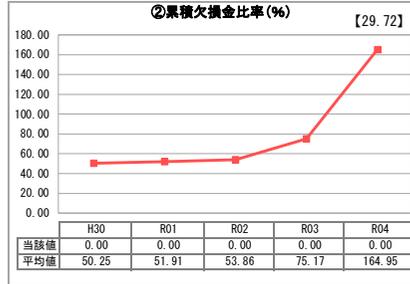
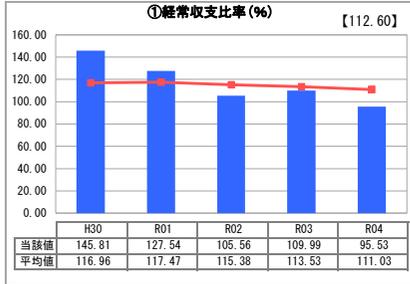
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	125,000	中規模	1	52,964
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	51.5	15	97,836	自治体職員	

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率  
・比率は前年度より減少し、100%を下回った。  
・主な減少要因は、台風の被害により修繕費等が増え、経常費用が増加したことである。

流動比率  
・比率は100%以上であり、引き続き健全な状態である。

企業債残高対給水収益比率  
・比率は前年度より減少しており、類似団体平均値と比較して低くなっている。  
・主な減少要因は、償還に伴う企業債残高の減少である。

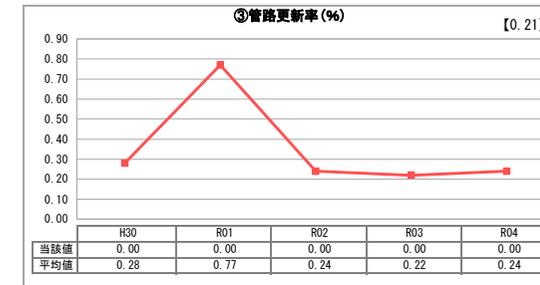
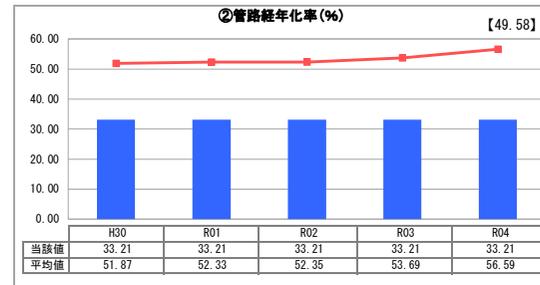
料金回収率  
・回収率は前年度より減少し、100%を下回った。  
・主な減少要因は、経常費用の増により給水原価が増加したことである。

施設利用率及び契約率  
・いずれも類似団体平均値と比較して高くなっている。  
・今後も効率的な給水に努め、ユーザーからの給水量の増量要望などに円滑に対応したい。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管路経年率  
・償却率は前年度より増加しているが、類似団体平均値と比較して低くなっている。  
・経年率は直近の5年間は一定であり、類似団体平均値と比較して低くなっている。  
・アセットマネジメント計画に基づいて、計画的な設備の更新等を行っていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経常費用が増加したことなどにより、前年度より悪化した指標があるものの、経営状況は安定している。  
今後、建設後相当の年数を経過した設備もあるため、設備の状況を的確に把握しながら更新等を行っていく必要がある。  
令和2年3月に策定した経営戦略である「宮崎県企業局経営ビジョン」に基づく企業経営を着実に実行し、引き続き、健全経営を維持しながら、本県の産業経済の振興と住民福祉の増進を図っていく。